

昭和52年度常緑果樹関係除草剤・ 生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和52年度常緑果樹関係委託試験成績検討会
は、昭和53年2月14日(火)、国立教育会館(東京)
において試験場関係者および委託関係者約
100名参集のもとに開催された。

調節剤11薬剤合計83点について、各試験場担当
者の報告、その質疑応答ならびに慎重な検討が
なされた。

その判定結果は、次のとおりである。

当検討会では、除草剤12薬剤合計58点、生育

昭和52年度 常緑果樹用除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定表

A 除 草 剤

薬 ● 種類 ○ 商品名	対象雑草 名	剤 型	有 効 成 分 および含有率	委託者名	担 当 場 所 ()内自主試験	試験の種類; 処理 方法; 処理時期; 散布薬量	新継 の別	判 定 理 由 または 内容
							今回 判定	
1. DBN ● DBN ○ カソロン 粒剤4.5	畑地一年 生雑草お よびギシ ギシ, ヨ モギ, ヤ ブガラシ 等多年生 雑草	粒	2,6-ジクロル ベンゾニトリル 4.5%	兼 商	静岡柑試, 三重 紀南かんきつセ ンター, 和歌山 果園試, 愛媛果 試, 福岡園試, 大分柑試津久見 分場, [宮崎総 農試]。	適用性試験; 土壌 処理, 春期雑草発 生始期(3月~4 月上旬); 9, 12, 15 kg/10a対照... 6. 7 粒剤, 7kg/10 a.	新 {有効 成分 含有 率変 更} 実・継	実: [宿根草] 春期雑草発生 始期(3~4 月上旬) 9~ 15kg/10a (9~15g/m ²) スポット(土 壌)処理。 継: 土性, 中耕, 連用と薬害に ついて。
2. DPX- 1108 ● (有機リン系) ○ クレナイト	宿 根 性 雑 草	液	アンモニウム- エチルカーバ モイルホスホネ ート 41.5%	デュボン ファーイ ースト日 本支社	果試興津支場, 香川農試府中分 場。	適用性試験(翌春 の発芽抑制効果); 茎葉処理[S51秋 期処理]; 枯葉茎 前, 秋期処理: 250, 500, 1000mL/10a.	新 継?	・効果が明確で ない。
3. EH-275 ● ターバシ ル・ DCMU ○ ゴーバー 粒剤	畑地一年 生雑草全 般	粒	ターバシル: 3 -ターシャリ -ブチル-5 -クロロ-6 -メチルウラ シル 1.25%	丸和バイ オケミカ ル	[効果] 和歌山 果園試, 広島果 試, [香川農試 府中分場], 福 岡園試, [薬害] 静岡柑 試, 香川農試府	適用性試験, 早期 散布による薬量と 効果確認; 全面[茎 葉兼土壌]処理; 春期雑草発生初期 (草丈20cm位ま で); 8, 10, 12kg	継 継	・高濃度での早 い時期での検 討。

薬 剤 名 ● 種 類 名 ○ 商 品 名	対象雑草	剤型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	委託者名	担 当 場 所 〔 〕内自主試験	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量	新継 の別	判 定 理 由 ま た は 内 容
							今回 判定	
3. EH-275 (つづき)			DCMU：3-(3, 4-ジクロロ フェニル)1,1- ジメチル尿素 1.25%		中分場.	／10a〔薬害は12 kg×5〕.		
4. HW- 422・N ● DCPA・ NAC ○ _____	畑地一年 生雑草全 般	水和	DCPA：3,4- ジクロロプロピ オンアニライ ド 40% NAC：1-ナ フチル-N- メチルカーバ メート 8%	保 土 谷 化学工業	静岡柑試，奈良 農試，広島果試， 愛媛果試，長崎 果試，	適用性試験，展着 剤を必要としない 水和剤の効果確認 ；雑草茎葉処理(加 圧噴霧器で雑草全 体がよくぬれるよ うに散布する)；草 丈10cm以上の春， 夏期1.5，2kg／ 10a(200l／10a 水量)．	継 実・継	実：〔畑地一年 生雑草〕草丈 10cm以上の 春，夏期1.5 ～2kg／10a， (200l／10a 水量) 雑草茎 葉処理，＜ワ イダックと同 等＞ 継：製剤の改良 の検討． (展着剤の価値 が不明，溶け が悪い)．
5. MON- 39 ● グリフォ セート ○ ラウンド アップ	ミカン園 で問題に なる多年 生雑草＝ 宿根草 (他全雑 草)	液	N- (フォスフ ォノメチル) グ リシン，イソプ ロピルアミン塩	日本モン サント	果試興津支場， 同口之津支場， 四国農試，静岡 柑試，広島果試， 愛媛果試，高知 果試，福岡園試， 佐賀果試，熊本 果試，〔大分柑 試〕，〔大分柑試 津久見分場〕，鹿 児島果試．	適用性〔実用化〕 試験，スポット処 理の適切な散布薬 量・液量の検討； 雑草茎葉全面散布， スポット処理；生 育最盛期で開花直 前頃； 〔A〕(1) 0.75，1.00， 1.50%液 60ま たは100ml／ m ² ． (2) 1.0，1.5， 2.0%液30ま たは，60ml／m ² ， 〔B〕(1) 1.0，1.5， 2.0%液または 100ml／m ² ． (2) 1.5，2.0， 2.5%液または 60ml／m ² ． 〔A〕は比較的弱い 草〔B〕は強い草)； 対照薬剤は草種に より考慮する．	継 実・継	実：〔チガヤ・ ススキ・ギシ ギシ・ヨモギ・ ハマスゲ・ド クダミ・カラ ムシ〕生育最 盛期で開花直 前頃まで， 500～1000 ml／10a (水 量60～120l ／10a) 雑草茎 葉全面散布， スポット処理． (但し，小型 草種，草量の 少ない場合に は，低水量で もよい) 継：〔スギナ・ ヒルガオ・サ サ・ヤブカラ シ〕処理時期， 濃度の検討．
6. NP-48 Na	ススキま	水溶	2-(1-アリ	日本曹達	果試興津支場，	適用性試験，法面	継	・枯殺剤として

薬 剤 名 ● 種 類 ○ 商 品 名	対象雑草	剤型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	委託者名	担 当 場 所 〔 〕内自主試験	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量	新継 の別 今回 判定	判 定 理 由 ま た は 内 容
NP-48 (つづき) ● アロキシ ジメドン Na ○ クサガード	たはチガ ヤ (イネ 科多年生 雑草)		ルオキシアミノ ブチリデン) - 5,5-ジメチル -4-メトキシ カルボニル-シ クロヘキサン- 1,3-ジオンナ トリウム塩 75%		同口之津支場， 四国農試，大阪 農技センター， 大分柑試，宮崎 総農試。	のイネ科多年生雑 草の抑草またはテ ラス面の防除；雑 草茎葉処理；スス キ50cm前後， チガヤ40cm前後 (いずれも30cm 頃処理，特に低濃 度の場合)；0.5， 1.0，1.5kg/10a 展着剤としてマシ ン油 (ラピサンス プレー) を0.5% 加用。	継	の処理処期と 濃度 (薬量) の検討。 ● [ススキ・チ ガヤに対して] 抑草剤として の検討。 (刈取後20～ 30cm時，1～ 1.5kg/10a の処理で，翌 シーズンまで， 持つかどうか)
7. OK-621 ● (パラコ ート) ○ _____	畑地一年 生雑草全 般	液	1,1'-ジメチル -4,4'-ビピリ ジウムジメチル サルフェート 38%	大塚化学 薬 品	四国農試，大阪 農技センター， 徳島果試。	適用性 (効果) 試 験，グラモキソン との比較でミカン 園での効果・被害 の確認；雑草茎葉 処理；生育期；30 ml/a，[水量15 l/a] もう一度濃 度試験をする。対 照薬剤…グラモキ ソン。	新 継	● 試験例数不足。 ● 効果のフレが ある。
8. OK-622 ● (パラコート) ○ _____	畑地一年 生雑草全 般	液	1,1'-ジメチル -4,4'-ビピリ ジウムジクロリ ド 24%	大塚化学 薬 品	神奈川県 試根 府川分場，静岡 柑試，愛媛果試， 徳島果試，長崎 果試，大分柑試。	OK-621 に準ず る。	新 継	● グラモキソン に準ずる。 [畑地一年生雑 草]生育期300 ml/10a (水 量150～200 l/10a)，全 面茎葉処理。
9. RH- 2915・D ● _____ ○ _____	カンキツ 園下草 (1年生 雑草)	水和	RH-2915：2 -クロロ-4 -トリフル オロメチルフ ェニル-3'- エトキシ-4 -ニトロフェ ニルエーテル 30% DCMU：3-(3， 4-ジクロロフ ェニル)-1,1 -ジメチルウレ ア 7%	東京有機 化学工業 三洋貿易	神奈川県 試根 府川分場，山口 大島柑きつ試， 鹿児島果試。	適用性試験，カン キツ園下草除草 剤としての使用方 法の確立；雑草生 育期全面茎葉噴霧 処理；春草および 夏草期；30，60g /a (水量15l/a)， 展着剤加用。	継 (実・ 継)	(従来通り) ● 実用化の上で の問題点の検 討。 ● 春草のキク科 に対して効果 劣る。

薬 剤 名 ・ 種 類 名 ○ 商 品 名	対象雑草	剤型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	委託者名	担 当 場 所 〔 〕内自主試験	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量	新継 の別 今回 判定	判 定 理 由 ま た は 内 容
10. S L - 501 ・ ○	イネ科雑 草全般	液	未 公 開 35%	石原産業	四国農試，大阪 農技センター， 和歌山果園試， 香川農試府中分 場。 〔薬害：和歌山 果園試〕。	適用性試験；雑草 茎葉全面処理；① 春草 ②夏草…20 ～30cm以内；40,60 g/a。スプリンク ラー散布による散 布も検討。	継 継	●イネ科大型宿 根草の抑草。 ●イネ科一年生 の殺草。
11. サスター ・CF125 ・ ○	みかん園 一般草種	水和	サスター(MBR 12325)混合剤 20% CF125(モルフ ァクチン)混合剤 20%	日産化学 工 業	果試 口之津支場， 四国農試，静岡 柑試，宮崎総農 試。	適用性試験，草生 地の雑草伸長抑制 による草管理と刈 取省力化；茎葉全 面散布；平均草丈 10cm 頃まで又は 刈取後1～2日以 内の時；100g / a，200g/a， 100g/a；+1カ 月後100g/a再散 布（処理後刈取） みかん樹には直接 かからないよう。	継 継	●イネ科への効 果の向上。
12. T A W - 16 ・ DCPA・ MTMC・ DCMU ○	みかん園 下草（1 年生雑草， 特に夏草）	水和	DCPA：3,4- ジクロロプロ ピオンアニリ ド 45% MTMC：メタト リル-N-メ チルカーバメ ート 9% DCMU：3-(3, 4-ジクロル フェニル) 1, 1-ジメチル 尿素 7%	ト モ ノ 農 業	愛知農総試蒲郡 支所，山口大島 柑試，香川農試 府中分場。	適用性試験，梅雨 明け後の夏草に対 する除草効果につ いて，草丈あるい は草量と薬量の関 係；茎葉処理；7 月；100,150g/ a，対象薬剤…ロ ンリーフ乳剤300 ml/a，展着剤は 無加用。	継 実・継	実：〔一年生雑 草；夏草〕ロ ンリーフと同 等時期（梅雨 明けの乾燥し た時期＜7月＞ 1000～ 1500g/10a， 茎葉処理。 継：土壌水分， 草量と薬量と の関係につい て。

B 生育調節剤

1. Ca CO ₃ ・炭酸カル シウム水 和剤 ○クレフ ン粉剤	カンキツ 類		炭酸カルシウム 95% 湿展剤等 5%	白石カル シウム	果試興津支場， 同口之津支場， 四国農試，神奈 川園試根府川分 場，静岡柑試， 和歌山果園試， 愛媛果試，高知 果試，福岡園試，	実用試験；50～ 100倍。	継 （実・継）	●前回通り。
---	-----------	--	------------------------------	-------------	---	-------------------	------------	--------

薬 剤 名 ● 種 類 ○ 商 品 名	対象作物	剤型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	委託者名	担 当 場 所 〔 〕内自主試験	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量	新継 の別 今回 判定	判 定 理 由 ま た は 内 容
1. CaCO_3 (つづき)					佐賀果試，熊本 果試，〔大分柑 試津久見分場〕， 〔宮崎総農試〕。			
2. MSS- 77 ● _____ ○ _____	早生ウン シュウ	乳	menthene の重 合体 (100%)	丸和バイ オケミカ ル	果試興津支場， 福岡園試，佐賀 果試。	適用性試験，みか んの品質保持，(日 焼け，浮波防止等) ；(50), 100, 200 倍，	新 継？	● 効果なし。
3. シオノッ クス ● 植物成長 調整剤 ○ シオノッ クス水和 剤	早生ウン シュウ	水和	二酸化ケイ素 75.0%	塩 野 義 製 薬	神奈川県試根府 川分場，福岡園 試，熊本果試， 〔大分柑試津久 見分場〕。	適用性試験，日焼 果の発生防止；全 面散布；7月中旬， 7月中旬および8 月上旬(間隔15日)， 8月上旬，8月上 旬および8月中旬 (間隔15日)；30倍 液，300l/a。	継 継	● 日焼け，浮波 軽減に対する 効果の検討。 ● 品質の効果を向 上。
4. GA (ジ ベレリン) ● _____ ○ _____	(温州ミ カン)		ジベレリン顆粒 3.1% ジベレリン錠 2.78%	日本ジベ レリン研 究会 (事務局： 協和醗 酵工業)	果試興津支場， 静岡柑試，大阪 農技セ，和歌山 果園試，愛媛果 試，福岡園試， 宮崎総農試。	実用性試験，2～ 3月頃，ジベレリ ン散布による開 花量の抑制，隔年結 果の是正；散布処 理；3月5日頃と その前後1週間； 10, 20ppm, 200 l/10a。 枝別処理試験，3 反覆。	新 (保 留)	翌年の調査待ち。
5. KP- 1100 ● _____ ○ _____	ウンシュ ウミカン	乳	ドデシルベンゼ ンスルホン酸カ ルシウム塩 25.0%	花王石鹼	果試興津支場， 同口之津支場， 和歌山果園試， 香川農試府中分 場，〔宮崎総農 試〕。	適用性試験，部分 摘蕾，処理時期を 検討；全面茎葉処 理；満開10日頃— 2, 3 時期；50, 100, 200 倍。	新 継？	● 葉害(落葉) がある。
6. SLG- 522 ● _____ ○ _____	〔温州ミ カン〕	液	未 公 開 10%	石原産業	果試興津支場， 同口之津支場， 静岡柑試，大阪 農技セ，〔香川 農試府中分場〕， 愛媛果試，〔高 知果試〕，福岡園 試，〔長崎果試〕， 〔熊本果試〕。	適用性試験，摘果 剤としての利用性 確立と品質への効 果等の検討；立木 全面散布；満開25 ～35日頃；100, 200ppm。	新 継	● 試験年次不足。 (40日後，100, 200ppm を 中心に検討す る)

薬 剤 名 ● 種 類 名 ○ 商 品 名	対象作物	剤型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	委託者名	担 当 場 所 〔 〕内自主試験	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布葉量	新継 の別 —— 今回 判定	判 定 理 由 ま た は 内 容
6. S L G - 522 (つづき)					大分柑試，宮崎 総農試，鹿児島 果試，千葉大学。			
7. J - 455 ● _____ ○ _____	〔温州ミ カン〕	乳	5 - クロロイン ダゾール酢酸エ チルエステル 20%	日産化学 工 業	果試興津支場， 同安芸津支場， 同口之津支場， 四国農試，神奈 川園試根府川分 場，静岡柑試， 同西遠分場，愛 知農総試蒲郡支 所，三重紀南か んきつセンター， 奈良農試，大阪 農技センター， 和歌山果園試， 広島果試，山口 大島柑試，香川 農試府中分場， 愛媛果試，徳島 果試，高知県試， 福岡園試，佐賀 果試，長崎果試， 熊本果試，大分 柑試，同津久見 分場，宮崎総農 試，鹿児島果試， 千葉大学，愛媛 大学，鹿児島大 学。	適用性試験，摘果 効果，果実品質（着 色・増糖・減酸） 効果；立木全面散 布；満開後30,40, 50日；100, 200 ppm，果径20mm 以下のもの，20～ 25mmのもの，25 mm以上のものの 比率を算出する。	継 —— (実・継)	● 前回通り。
8. H C C - 733 ● _____ ○ _____	〔温州み かん〕	乳	3,4 - ジクロロ フェノキシプロ ピオン酸ブチル エステル 60%	保 土 谷 化学工業	果試口之津支場， 愛媛果試，福岡 園試，〔大分柑試〕	適用性試験，浮波 防止；散布；みか ん着色始期；100 ppm (A. I.)。	継 —— 継?	● 浮波は防ぐが， 着色，成熟が 遅れる。 ● 実用性につい て問題点があ る。
9. T G - 77 ● _____ ○ _____	〔温州み かん〕	乳	未 公 開 12%	武田薬品 工 業	果試興津支場， 香川農試府中分 場，福岡園試， 佐賀果試。	基礎試験，食味改 善，減酸，着色， 促進効果の検討； 散布；9月中旬～ 10月上旬；50,100, 200ppm，30ml /10a。	新 —— 継?	● 効果が明確で ない。
10. アルギ フェート			未 公 開	神協産業	果試興津支場， 神奈川園試根府	基礎試験，品質向 上，熟期促進，枝	新 —— 継?	● 効果が明確で ない。

薬 剤 名 ● 種 類 ○ 商 品 名	対象作物	剤型	有 効 成 分 および含有率	委託者名	担 当 場 所 ()内自主試験	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量	新継 の別 今回 判定	判 定 理 由 また は 内 容
アルギフェ ート (つづき) ● _____ ○ _____					川分場，山口大 島柑試，〔愛媛果 試〕，〔徳島果試〕， 福岡園試，佐賀 果試，宮崎総農 試，〔鹿児島果 試〕。	別散布；7月，8 月，9月，10月各 1日に各1回処理 及び9月20日，10 月1日の2回処理 ；0, 250, 500 ppm.		
11. ACP- 68-250 ● _____ ○ _____	晩かん類 〔ボンカ ン，タ ンカン， キンカ ン等〕	液	2-クロロエチ チルホスホン酸 10%	2,4-D 協 議 会 〔事務局： 日産化 学工業〕	鹿児島農試大島 支場，沖縄農試 名護支場，鹿児 島大学。	適用性試験；立木 全面散布；10月下 旬～11月上旬；100 ～200ppm(成分) を200～300l /10a.	継 実・継	実：〔沖縄・奄 美大島に限り〕 〔ボンカン・タ ンカン〕着色 始期，〔ホタル ジツ期〕100 ppm，立木全 面散布。 継：散布液量， 適用地域拡大 〔キンカン〕の 検討。

昭和52年度リンゴ関係除草剤・ 生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和52年度リンゴ関係委託試験成績検討会は，
昭和53年2月24日(金)，岩手県職員共済会館に
おいて試験場関係者および委託関係者等約50名
参集のもとに開催された。

除草剤6薬剤合計38点，生育調節剤8薬剤合計
22点について，各試験場担当者の報告，その質
疑応答ならびに慎重な検討がなされた。

その判定結果は，次のとおりである。

当検討会では，昭和51年度秋冬処理も含めて，

昭和52年度 リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定表

A 除 草 剤

薬 剤 名 ● 種 類 ○ 商 品 名	剤型	有 効 成 分 および含有率	委託者名	担 当 場 所	対象草種	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量	新継 の別 今回 判定	判 定 理 由 また は 内 容
1. CG-116 ● (CAT・	水和	CAT：2-クロ ル-4,6-ビ	日本チバ ガイギー	北海道道南農試， 青森りんご試，	一年生イ ネ科広葉	適用性試験，樹園 地一年生雑草全般	継 中止	薬害の危険性大。